

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	茂木町			代表者名	古口 達也
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画課 広報情報係	連絡先電話番号	0285-63-5616
担当者役職	係長	担当者氏名	鈴木 克幸	連絡先E-mail	
住所	321-3598 栃木県茂木町茂木155				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進事業
概要	・ 市内のDXを推進していくため、効果的な研修開催に向けてのアドバイス ・ 機運の醸成を図るため、DX推進に関する研修会の実施		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月17日	支援・助言&講演(実地)	8時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	450
2-2. 派遣場所	会場名	茂木町役場		最寄駅	茂木駅
	所在地	栃木県芳賀郡茂木町大字茂木155		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	組織全体でDX推進に係る機運の醸成を図るため、職員の意識改革に資する研修を実施いただき、DXマインドセット研修と題して、デジタルツールの導入が目的ではなく手段であること、デジタルにとらわれず業務改革や生産性向上を図ることができることなど、分かりやすい資料と講演により、職員の意識改革や変容を促す研修であったため。
アドバイザーへの要望事項	継続的な支援を要望したい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	84人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	84		その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		組織でDXを推進していくにあたり、DXに対する基礎的な知識不足や職員間での共通理解が図られない。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		職員一人一人のDXに関する知識やスキルの向上を図り、組織全体で推進していくことができる体制の構築や機運の醸成。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	全職員を対象としたDXマインドセット研修の実施。(午前と午後の部の2回)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXの定義、デジタルが先行しない業務改革(業務の見直し)、人材育成や発掘、推進体制構築の重要性、意識改革や変容を促す手法(小さな成功体験の積み上げ)などを学ぶことができ、組織全体でDXを推進していくために必要な職員間の共通理解が図られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修の実施。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加した全職員が「有意義な研修であった」と回答し、研修受講後のDXや業務改善に関する意識の変化は「変化した」との回答が98.5%であった。このことから、機運の醸成を高める意識改革につながったと考える。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	研修の中で、人材育成や発掘、コミュニケーションコストの観点からDXを推進していくために必要なチームの重要性を認識したため、DX推進チームの構築を検討する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員側の業務効率化と町民の利便性向上のため、既存の導入デジタルツールの見直しや効率化を図り、継続的にDXを推進していくための体制を整備する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なお&lt;その他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		

